



THE PHENOMENOLOGICAL ASSOCIATION OF JAPAN

日本現象学会事務局

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目
北海道大学大学院文学研究院 田口茂研究室
E-mail : paj-office@pa-j.jp 郵便振替 00980-9-109153

事務局便り

2024 年 3 月

日本現象学会会員各位

拝啓

春暖の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現象学会委員の皆様および会員の皆様には、様々な形で事務局運営上のご支援とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。2024 年度の大会は、11 月 16 日（土）、17 日（日）に北海道大学で開催する予定であります。

次回も実り豊かな大会になることを祈念しつつ、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

1. 住所変更について

所属や住所等に変更があった方は現象学会の HP (<http://pa-j.jp/index.html>) にアクセスしていただき、グループフォームに記載してください。

(<https://goo.gl/forms/G3ziknS3PMqz2nt2> から直接アクセスできます。) 住所変更についてもこちらにご記入ください。(住所は名簿には記載しません。)



2. 事務局便り、研究大会プログラムの電子化についてのお知らせ（継続）

今後、事務局便りおよび研究大会プログラムは、電子メールにて配信することにしたと思います。会員の皆様におかれましては、電子メールの登録をお願いいたします。件名を電子メール配信希望とし、paj-office@pa-j.jp

まで、お名前、ご所属、配信先メールアドレスを記載の上、メールでご連絡していただけますよう、ご協力お願いします。メール配信の場合は、郵送は致しませんのでご了承ください。(ただし現在のところ、ML への登録が少数のため事務手続き上、郵送もしております。)

また、研究大会プログラムにつきましては、HP 上にもアップいたします。

3. 第 46 回研究大会個人研究発表・ワークショップ募集

第 46 回研究大会は、2024 年 11 月 16 日（土）・17 日（日）、北海道大学での開催を予定しています。

(1) 個人研究発表の募集

個人研究発表を希望される会員は、以下の要領で発表要旨を作成の上、**Word ファイルを添付し、電子メールにて事務局へ提出**してください。

外国語（英語・ドイツ語・フランス語）での発表も可能です。

個人研究発表要旨応募要領

① 字数制限：

(日本語発表の場合) A4 版用紙 2 枚 (2400 字) 以内

原稿用紙のフォーマット：40 字×30 行×2 枚

(外国語発表の場合) A4 版用紙 2 枚 (字数 800 語) 以内
参考文献は字数に含みます。また、文字数・原稿用紙両方の規定を厳守のこと（参考文献・注もフォーマットに従ってください。)

② タイトル・様式など：

別紙で、タイトル・氏名・連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）・所属を必ず記載してください (枚数・字数に含まず)。

期限・送付先：

2024 年 5 月 31 日（金）（期限厳守）

事務局 (paj-office@pa-j.jp) 宛

③備考

- ・発表の可否は、委員による審査の上、7月下旬頃までにご連絡致します。(7月中に連絡がない場合には、事務局まで確認の連絡をするようにお願いします。)
- ・**発表可となった発表要旨は、日本現象学会のHP上で公開します。**
- ・発表要旨のタイトルを研究大会での発表の際に変更することは認められませんのでご注意ください。ただし、副題を添えるなどの変更は認められます。
- ・個人研究発表時間は30分です
(質疑応答は別に15分)。

(2) ワークショップの募集

ワークショップ(萌芽的・実験的テーマに関する共同研究)を会員から募集いたします。以下の要領で発表要旨を作成の上、事務局へ**Word ファイルを添付の上、電子メール**にて提出してください。

ワークショップ応募要領

①企画案：

題目、オーガナイザ〔幹事〕名(所属)、提題者名(所属)、要旨(各提題者の発表内容を含む)をA4版用紙1枚(字数1600~2000字程度)にまとめてください。別途(A4版1枚)表紙に、オーガナイザの方の連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)を記入してください。

② 期限・送付先：

2024年5月31日(金)(期限厳守)

事務局 (paj-office@pa-j.jp) 宛

③備考

- ・オーガナイザ(1名)は日本現象学会会員に限ります。
- ・提題者は非会員でも構いません。提題者の人数に制限はありません。なお、オーガナイザと提題者がすべて同じ所属であることは認められません。
- ・ワークショップの時間は、原則120分です。
- ・発表の可否は、委員による審査の上、7月下旬頃にご連絡いたします。
- ・ワークショップ報告書(10,000字)が、『年報』41号(2025年11月刊行予定)に掲載されます。

(3) 大会時の旅費の一部補助について

- ・当学会では、遠方から大会に参加し発表する、大学院生・非-常勤研究者の会員に、旅費の一部を補助しています。旅費補助は、自身の発表がない方の大会日に運営の手伝いをしてくださる方を対象とします。希望者は、大会個人発表およびワークショップの応募時に、事務局までその旨ご連絡ください。締め切りは発表要旨の締め切りと同じ、2024年5月31日(金)です。

対象：大学院生、非-常勤研究者、かつ大会で発表する会員(ただし、科研費や学振等の補助金を受託している者を除く)。かつ、遠方から参加する(参加のために宿泊を伴う)会員。

4. 「研究奨励賞」について

2023年度の研究奨励賞は山崎諒氏が受賞しました。受賞論文は、「初期ハイデガーにおける「一般性」をめぐる一考察——「本質的に偶因的な表現」と「形式化/類化」の関係から——」です。

・各年度の受賞に当たっては編集委員会で下記の条件のもとに選定の審議が進められます。

- ①受賞審査対象は、当該年度の投稿論文とする。
- ②受賞者の資格は、40歳以下(研究大会当該年度4月1日現在)とする。
- ③副賞として、金二万円を贈呈する。
- ④希望者は英文訳を翌年の『年報』に掲載できる。ただし、著者が英語を第一言語としない場合は、かならずネイティブチェックを受けたうえで、そのことを証明する書類(書式自由)を添付すること。また、ネイティブチェックや翻訳の費用は著者の負担とする。
- ⑤希望者は北欧現象学会若手枠への推薦を受けられる。

5. 学会費納入のお願い

2023年度までの学会費をまだお支払い頂いていない方は、早急に納付頂きたく存じます。封筒に添付された**宛名ラベルの右下に記載された数字**をご覧ください。これが未納金額を示しています。

ご確認の上、同封いたしました郵便振替用紙にてお振り込み下さい。

(例、3000→要納入金額 3,000 円。これまでの会費の納入額が規定額より多いことなどにより、金額が異なる場合がありますのでご確認ください。疑義のある場合には事務局までお問い合わせください)。すでに納入された方には、行き違いをお詫びいたします。

0 と記載されている方は、2023 年度までの未納はありませんが、2024 年度の会費をお支払いいただけますので、同封した郵便振替用紙にて、3,000 円をお支払いください。

本学会は 4 月～3 月が会計年度となっています。本年度で退会される方は、3 月中に退会届をご提出いただきますよう、お願いいたします。4 月以降に退会をお申し出いただいた場合、2024 年度の会費を請求させていただく場合があります。

会費未納 3 年 (宛名ラベル 9000 以上) で納入督促、未納 5 年 (宛名ラベル 15000) で強制退会 (未納分を納入しない限り再入会不可) となりますので、会費を滞納されている方はご注意ください。

9. 『現象学年報』のバックナンバー

HP 上 (<http://pa-j.jp/pg104.html>) で 39 号 (2023 年) までのバックナンバーの PDF を公開しています。

10. 会員異動のお知らせ (以下敬称略)

- ・入会 (2023 年度新入会者: 13 名)
- ・退会 (2023 年度退会者: 19 名)

5 年以上滞納の方が 3 月中にご連絡いただけない場合、自動的に除籍となります。

11. 委員会議事録要旨

日時: 2023 年 10 月 28 日 (土) 12:30~13:50

29 日 (日) 12:20~13:50

場所: 明治大学駿河台キャンパス 1124 番教室

出席者 (敬称略):

26 日

植村、小手川、榊原、西村、石原 (悠)、三村、八重樫、池田、吉川、陶久、田口【事務局員: 宮崎】

27 日

中、中澤、石原 (孝)、植村、西村、三村、八重樫、池田、吉川、陶久、田口【事務局員: 宮崎】

議題

1. 各委員会からの報告
 - a. 企画実行委員会
 - b. 編集委員会
 - ・投稿論文の字数制限に再度注意喚起 (語数でなく字数)
 - c. 国際交流委員会
 - ドイツ現象学会と 2025 年からコラボしようという話があがっている。北欧現象学会と行なっているような相互派遣等を検討中。東アジア圏の現象学系学会との交流も今後視野に入れて進める。
2. 2022 年度決算報告ならびに監査報告承認された。
3. 2023 年度予算案 承認された。
4. 会則の変更について
 - 事務局移転の際に郵便局の名義変更を行うため、会則変更が必要になった。年報が横書きのため、会則も横書きに変更し、関連する表記を修正した。→承認された。
5. 2024 年度大会について
 - (ア) 開催校:
 - 北海道大学に決定。
6. 総会議題について
7. その他
 - ・年報、個人発表の所属の記載について審議。恣意的でない外的基準として、「所属先として書くことができるのは法人のみである」とする内規を定めた。
 - ・一般発表と論文投稿を切り離したので、公募ワークショップでの発表と年報への報告論文掲載も切り離すことを検討した。今後、編集委員会から提案がある。